

喜界町



議会だより

194号

令和6年2月1日発行



写真:令和6年消防出初め式



主	令和5年度 一般会計補正予算	2
な	条例等案件報告	3
内	一般質問に7名が登壇	4
容	読者の声・議会のうごき	11
	編集後記	12



発行/喜界町議会 編集/議会広報委員会

T891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地

TEL:0997(65)1115・FAX兼用

令和5年第4回定例会は、12月7日開会し12月15日までの9日間の会期で開かれた。12月7日は一般質問があり7名が登壇。また議案11件を各常任委員会に付託した。12月15日の最終本会議では、各常任委員会の委員長から報告があり議案11件、追加議案2件を可決した。

物価高騰対策予算増額

補正予算の主なもの

総務文教常任委員会付託分 委員長:野間 弘也

担当課	事業名	内容説明	予算額
総務課	維持補修費	前金久集落公民館改修工事の、危険箇所工事の追加分	2,177千円
	交通安全対策費	ロードミラーの新規設置で計5カ所予定	1,000千円
企画観光課	ふるさと寄付金事業	企業版ふるさと納税を実施したことにより寄付金の増額	36,061千円
	地域おこし協力隊費	ジオパーク関連の人員不足のため1名、サンゴ留学関連で1名、計2名の増員	2,251千円
	移住促進事業費	空き家バンク改修の13件増加	8,695千円
	観光費	観光パンフレットの追加分とクルーズ船来島に伴い、英語・中国語に対応した新たなパンフレットを作成	1,262千円
	維持補修費	サンセットパークの東屋の屋根改修費(手久津久集落のお墓下)	220千円
町民税務課	塵芥処理費	クリーンセンターの民間委託に向けてプラントメーカーの専門職員に設備の取り扱い等の指導を依頼	3,000千円
教育委員会 総務課	給食施設費	牛乳保冷車、プレハブ冷凍庫の修繕や物価高騰による賄材料費の増額でとくに野菜類、冷凍食品	3,200千円

補正予算の主なもの

産業福祉常任委員会付託分 委員長:生駒 弘

担当課	事業名	内容説明	予算額
まちづくり課	道路改良工事(町単独事業)	伊実久オザキ1号線の改修大雨で伊砂・伊実久間の道路が崩れた路肩の改修	5,000千円
	道路新設工事(国県補助事業)	湾頭原・池治線の工事で畑かんの移設	2,000千円
	道路改良工事(国県補助事業)	早町・伊実久線道路補修工事・路肩・路面の保護	2,000千円
	住宅解体・撤去工事(町単独事業)	湾水洗い第3団地解体工事で物価高騰・労務単価も上がっている為	1,000千円
保健福祉課	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援交付金(追加分)7万円×1,500件分	105,000千円
	「食」の自立支援事業	(配食サービス)委託料 3,710食分	1,600千円
農業振興課	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業	畜産事業者支援補助金(追加分)子牛の育成強化支援事業で生後3ヵ月までの飼料現物支援	32,286千円
	畜産振興費	畜産事業者支援補助金 1万円×1,765頭	17,650千円
	和牛改良組合補助金	Aコープでの和牛即売会の町支援分	1,000千円

条例等案件報告

(議長は採決に含まず)

議案	内容	賛成	反対	採決
議案第51号	町長等の給与等に関する条例等の一部を改正する条例について	11	0	原案可決
	人事院勧告に基づき、町長、副町長、教育長、議員の期末手当を令和5年12月支給分0.1ヵ月分増額するなど			
議案第52号	喜界町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	11	0	原案可決
	人事院勧告に基づく国家公務員の取扱いに準じて、若年層を中心に給料表の引き上げ。また、テレワーク中心の働き方をする職員のための光熱水費等の負担軽減のため、令和6年4月から在宅勤務等手当を新設する			
議案第53号	報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について	11	0	原案可決
	喜界町環境循環型複合施設建設調査検討委員の報酬、日額3,000円を追加する			
議案第54号	喜界町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	11	0	原案可決
	喜界町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、産前産後の国民健康保険税を免除し、子供、子育て支援の充実を図る			
議案第55号	喜界町農村公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 志戸桶農村公園の項を削る	11	0	原案可決

一般質問

町政の ここが聞きたい

第4回定例会で7名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。
質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
くらはし ひるとし
倉橋 博都 議員

町内のゴミステーションの ゴミ箱について

質問

町内のゴミステーションでは、様々な形のゴミ箱が使われており、例えば風呂桶・ドラム缶、木材、鉄骨、冷凍庫、中には網だけをかぶせている箇所もある。

風呂桶及びドラム缶に関しては、ゴミ箱がないので、個人で設置した人もいると聞いている。通学路にゴミステーションがある箇所は、ゴミを出す日には子供たちが車道に出て危ない。また、そのゴミをガラサー（カラス）が突いて、中身を出しているところもある。

台風にも強く飛ばされないような丈夫なつくりで、ゴミ箱を行政が設置できないのか伺う。

答弁 町民税務課長

ゴミステーションは全国的に見て、自治会などの利用者が設置や修繕を行っており、本町においてもそれぞれの利用者間で製作や設置、修繕を行っている。

利用人数での大きさ、それと設置場所での形状もあるので、これま

で同様、利用者間や集落単位での製作、設置をお願いする。

質問

子供たちが通る通学路にもゴミステーションがあるが、それも行政としては考えてはいないということか。

答弁 町民税務課長

設置場所等も含めて、利用者間で決めていただければと思っている。

志戸桶地区に 町営住宅はできないか

質問

湾及び中里地区に町営住宅ができていて、我々志戸桶の若い人たちから羨ましがられている。若い世代からも志戸桶にどうしても町営住宅が欲しいという声がよく聞かれる。

空き家に関しては、仏壇が残り、建物も古く、貸す人がいないのが現状である。志戸桶の若い人も結婚して、住まいを探しているが見当たらないのが現状で、結婚するのに踏み出せない人もいる。

志戸桶集落に町営住宅はできないか伺う。

答弁 まちづくり課長

公営住宅建設については、喜界町長寿命化計画に基づいて実施をしており、この計画に基づき修繕あるいは建て替え事業が社会資本整備総合交付金の補助対象となっている。現計画に志戸桶地区の住宅整備は盛り込まれていないので、5年に

度の見直しとなる令和9年度に検討する。

ただし、計画見直しには、本町全域の既存住宅を対象として住宅を取り巻く状況、公営住宅などの現況など様々な調査を実施し、得られた判定やデータなどを基に専門的知識を有する方々からの御意見を伺い、計画期間が進められるとともに、計画期間に望まれる住宅施策をあらゆる視点から検討することとなっている。

質問

なぜ湾と中里にはできて、志戸桶にはできないのか。古い家には住みたくなくて、新しい家に住みたいと思つ。

志戸桶地区や早町地区、上嘉鉄地区があるが、その辺には造りたいという気持ちは町長としてはないのか。

答弁 町長

町の状況を見て、自分の集落に造つてほしいというのは、昔から要望が地域としてはある。

満室になるぐらいの需要があるのかどうかという全体の公営住宅計画を立てるわけで、自分の集落に造つてほしいという気持ちは重々分かっている。



質問する
よねだ のぶや
米田 信也 議員

喜界馬復活 活用プロジェクト事業について

質問
約5年前から始まった喜界馬復活・活用プロジェクト事業の進捗状況と今後の予定について伺う。

答弁 企画観光課長

平成30年度に雌馬グラッシーを受入れ、その後、2頭目、雄馬の受入れに向け、鹿児島大学 入来牧場及びかわなべ馬事公苑などと協議を行ってきましたが、これまで進展がない状況でした。しかし、先月の24



鹿児島県の天然記念物に指定された喜界馬

日、鹿児島大学の入来牧場及びトカラ馬保存会事務局へ出向き、2頭目受入れに向けての協議を行って来た。

今後は、保存会へ参画することともに、保存会のメンバーである県、鹿児島大学、開聞山麓自然公園、十島村などの関係者との連携を密にして、2頭目受入れに努めるとともに、受入れ後の体制、飼育人員や環境整備なども、早急に検討したい。

町民の命の危機に関わる スズメバチ駆除について

質問

今年の春から夏にかけて目撃情報も巢の発見も無かったが、10月に入り、川嶺集落の畑でスズメバチの巣が見つかり駆除された。その後もスズメバチの目撃情報があり、まだ駆除し切れていない状況である。このことを踏まえて、来年の繁殖期までの調査、駆除の活動について伺う。

答弁 企画観光課長

スズメバチについての本年度の状況ですが、昨年スズメバチが捕獲された場所を中心に、トラップを5か所8個設置して経過観察を行なっているが、現段階で捕獲がない状況。

他の情報は、川嶺やスギラビエチにおいて、個体の確認の情報提供があったので、当方でも確認に行きましたが、現在は確認に至っていない状況である。

このような状況やこれまでの専門家の根絶はほぼ不可能という意見

を考慮して、これまでと同様、来年も経過観察を行いながら状況に応じ、必要な対策を講じていきたい。

早期認定申請に向けて ジオパーク推進事業について

質問

目標にしている令和6年以降のジオパーク認定に向けての進捗状況及び今後の取組やイベント活動について伺う。

答弁 町長

行政報告で触れたが、進捗状況については、本年6月に準備評議会を喜界島ジオパーク推進協議会という名称に移行し、7月にロゴマークを公募して、8月に選定した。10月にはお披露目式の開催。また、広報きかいでの連載や小中学校教職員へのジオパーク研修、児童生徒へのジオパーク学習。それと、ジオパーク給食の実施。さらには、町防災訓練において、ジオパーク講話を実施した。

日本ジオパークは、ほとんどが火山地帯の地層であるが、喜界島の場合には隆起サンゴ礁の島ということで、ジオパークの首長もかなり関心を持っている。

本町としても、喜界島が世界的にも貴重な島である事を認識、自覚をもちょうため、子供たちにも教育している。

今後は生涯フェスタなど、各種イベントへ参加して、町民の認知度向上を図り、早期認定申請に向けて努めていく。

堆肥センター 大幅計画変更

質問

堆肥センター建設事業の進捗状況及び今後の取組について伺う。

答弁 副町長

喜界町の堆肥センターの建設委員会の委員長の私から答弁します。堆肥センターの構想はできたが、大幅な原料の見直しがあり、10月10日をもって委員会を解散した。今後の取組は、これまでの構想を基に令和6年度初旬、幅広い分野、例えばこれまでの堆肥センター建設委員、区長会、地域女性団体連合会、事業者、スーパ、小規模畜産農家、園芸農家等で構成した検討委員会を立ち上げ年度内に建設に向けて方向性を決定したい。

最終処分場工事は順調

質問

令和6年の開業に向けての最終処分場工事の進捗状況について伺う。

答弁 町民税務課長

最終処分場工事は、本年4月に本格的に着工し、現在、工程表により土木工事、建築工事、プラント工事ともに予定どおり進んでおり、今後も工事管理者、工事受注者と定期的に打合せを行いながら、来年末の完成に向けて進めていく。



質問する
いこま ひろし
生駒 弘 議員

湾港沖防波堤に海釣り公園の整備は長期課題で検討

人口減少対策の一つとして交流人口の拡大が考えられる。その方策の一つとして湾港沖防波堤を利用した海釣り公園を整備したらどうか。

湾港沖は大潮と小潮で変わるが4ノット(時速約7キロメートル)早歩きでいどの潮の流れがあり魚種も多くロウニンアジ、カスミアジ、フエフキダイ、高級魚のスジハタ、ブダイなどいろんな魚が釣れる。釣り人にとって天国のような釣り場である。

海釣りマニアは全国に1,200万人いると言われており、本町の魅力的な海を全国に発信し、釣り客の誘致を図ることで観光客も増加する。また、釣り客は口帰りや一泊で帰ることもなく宿泊施設の充実も期待できる。

防波堤の利用には様々な制限があるなかで、多目的使用のガイドラインもある。現在整備中の防波堤を含め北防波堤、西防波堤を景観や環境に配慮した海釣り公園に整備したらどうか、見解を伺う。

答弁 町長

海釣り公園については、昨年榮優太議員からの質問、平成26年度に全体協議会で要望等があった。私も当時、観光的には有意義な方策だと思いい前向きに検討したいと答弁している。

今回、生駒議員の質問で、湾港沖の防波堤との指定もあり、県の湾港施設なので県に問い合わせた。県の回答は「まず、湾港の沖防波堤は現在整備中であり立ち入り禁止にしている。また沖防波堤は港や港周辺の地域を高波等から守るための施設であり、安全設備の設置等もなく、海への転落等のおそれがある危険な場所であり、整備後も原則、立ち入り禁止としている。そ



湾港沖で揚がる大型のロウニンアジ

れから、沖防波堤については安全対策を話し合う地元関係者からなる協議会を設置しようという団体があることや、沖防波堤の安全性が確保されていけば使用できる可能性はある」との回答を受けている。町として、整備の必要性は理解しているが、最終処分場、喜界小学校の屋内運動場建設、堆肥センター、サンゴ寮建設など多額の費用を伴う大型事業が控えており、予算面でも厳しい状況である。今後、協議会が設置されるような状況になったら改めて検討したい。

堆肥切り返し地盤のコンクリート化協議を進める

質問

現在、開発組合の堆肥はデトラツシャーから出たハカマ、フィルターケーキ、焼却灰を混ぜ合わせてできている。しかし、工場内から横持ちして岩場で10日に1回ほどの切り返しをしている。その際、オペレーターの努力にもかかわらず岩場の石が混ざってしまい堆肥に石が混ざった状態で出荷される。農家は畑で石を拾う作業をしなければならない。また、大きな石が混ざることによって運搬車、マニアスプレッダーの故障が多く令和4年度は150万円、令和5年度は10月現在で300万円の修理代がかかっている。堆肥は、キビ農家だけでなくカボチャ農家も助かっている。値段も1台3トンで4,500円ですが1,000円の補助がついて3,500円で買える。

年間3,000トンの堆肥は農家

にはなくてはならないものである。町の予算でコンクリート敷設出来ないか見解を伺う。

答弁 農業振興課長

現在、開発組合において生和糖業の敷地を利用して有機物資材の製造を行っている。この資材は重要な土づくり資材として多くの農家の皆さんに利用いただいている。製造している場所は私有地を借りて製造しており、その敷地の大部分が未整備地で、製造過程で石が混入していることもあり農家の皆さんに迷惑をかけている。

その防止策として、議員からもあったとおり、作業上のコンクリート敷設を行う必要がある。今後、開発組合員を通じて所有者との協議を進め対策を講じていきたい。



質問する
いくしま つねのり
生島 常範 議員

早期船便利用者の交通手段解消 具体案検討中

質要

「自家用有償旅客運送」を活用して進める事が承認され、今年10月に同会議の下部組織の幹事会を開催。前向きな議論があったとのこと。スピード感ある対応が必要だ。

質問

幹事会で協議した内容を地域公共交通会議で諮って最終決定となるが、いつ開催されるのか、また決定後も実証実験等が必要か。

答弁 企画観光課長

自家用有償旅客運送事業を行いたいという団体からの申請書 wait している段階である。

実証実験が必要かどうかも協議会で決定される。

島内公衆トイレ所在地 先ず町ホームページ上で周知

質要

蝶の観察目的で来島する方等のために、公衆トイレの場所のお知ら

せは必要だ。他の島の観光パンフにはトイレはもちろん、ATM等の案内もある。

質問

看板や町のホームページ上でお知らせし、観光パンフ改訂版にトイレの場所の追加案内はできないか。

答弁 企画観光課長

配慮すべきなので、先ずは費用のかからない町のホームページ上で検討したい。観光パンフの刷新は令和6年度以降、限られた予算内で可能かどうか検討したい。

堆肥センター建設 内容は各層団体に協議

質要

「原料の牛ふん量の変更により、生活環境の中の有機物、廃棄物も含めた取り組みも必要のため、今後は農家以外に、区長、地女連等町民の代表を含めて、より良い施設を目指す」、更に10月に旧「堆肥センター建設検討委員会」を解散し、令和6年度初旬には新検討委員会を招集して年度内に方向性決定とのこと。

作る側の都合だけではなく、利用者側の希望も反映されることが失敗しないために必要だ。

町民各層の代表は何名か。大小規模のキビ、園芸農家や家庭菜園で利用する方も参加できないか。

町民各層の代表は何名か。大小規模のキビ、園芸農家や家庭菜園で利用する方も参加できないか。

町民各層の代表は何名か。大小規模のキビ、園芸農家や家庭菜園で利用する方も参加できないか。

町民各層の代表は何名か。大小規模のキビ、園芸農家や家庭菜園で利用する方も参加できないか。

町民各層の代表は何名か。大小規模のキビ、園芸農家や家庭菜園で利用する方も参加できないか。

町民各層の代表は何名か。大小規模のキビ、園芸農家や家庭菜園で利用する方も参加できないか。

答弁 副町長

以前の検討委員会のメンバーは12名だったが、農家、小規模畜産農家、地女連、区長会等多く20名ほど、堆肥を利用する各層の方々を検討している。

文化財の継承と振興発展について

質要

与那国島で開催された「危機的状況にある言語・方言サミット」に昨年度に続いて職員を派遣した。全児童による方言訳の校歌の合唱等の発表もあった。中学生に方言指導したのは島外からの移住者の40代の男性と20代の卒業生の女性だった。コロナ禍の行事中止や高齢者の他界等で本町全集落の八月踊りも危機的状況である。

質問

「危機的状況にある言語・方言サミット」開催の計画を伺う。

答弁 教育長

開催した奄美市、知名町、与那国島の情報収集を行い、主催の文化庁とも必要な協議を進めている。本町開催も可能だと考えているが、開催年度については、早くても令和8年度以降を想定。開催が過性に終わらぬよう町民の気運、意識醸成、自主的活動等への支援協力も必要。その啓発の機会になればと考えている。

質問

言葉同様、祖先が伝えてきた多

様な島内全集落の八月踊りを「町指定文化財」にと要望したが、進捗を伺う。

答弁 教育長

多様性は理解している。町文化財保護審議会は年3回開催。令和6年2月下旬開催の第3回審議会以降で審議して頂きたい。

青年団体の育成 具体的支援内容は今後検討

質要

青年団の活動が盛んに行われ、地域に活気が戻ってきた。地域に組織が無い若者も参加できる「町青年連絡協議会」が有るが、活動休止状態だ。ふるさとや、集落の課題等を島内外の異年齢、異業種の若者が語り、考える活動は、小中高校生への影響も大きく意義有る活動だ。個人の価値観が変わっても人材はいる。行政無線で呼び掛けてセミナーや意見交換会開催等、熱意ある行政の支援が必要だ。

質問

休止中の喜界町青年連絡協議会の充実を図るための対策を伺う。

答弁 教育長

青年団組織の必要性は理解しているが、実態を踏まえ強制的ではなく、自主的な活動を支援、協力したい。大島地区内でも同じ課題を抱えている。行政が主催するセミナー等は考えていないが、今後検討したい。



質問する
よしおか りいちろう
良岡 理一郎 議員

軍事訓練 来春も製糖期にパラシュート降下 を予定

質問
① 島しょ奪還の前に本来守るべき、島民約6,500人の本土への避難訓練が欠落している。どこが責任を持つのか。関係者で話し合うべきではないか。
② 自衛隊及び日米共同訓練計画は、製糖期は避けるべきではないか。

答弁 町長
① 武力攻撃等町民の避難が必要となった場合は、当然、国が責任をもつ。
関係者の警察、消防、海上保安庁、自衛隊等、関係者間の情報共有を図っている。
② 令和6年2月末から3月初めにかけて陸上自衛隊第1空挺団によるパラシュート降下訓練が計画されており、現在調整中である。
実施時期については製糖期が終了した段階でという話はしている。今年も11月の生産振興大会、農家の皆さまにもしっかり説明をし、好意的に受け入れていただいた。

共同納骨堂 令和9年完成目指す

質問
今後の中・長期計画、ロードマップについて伺う。

答弁 町長
大まかな工程は、令和6年の上旬発注方式を含めた全体構想を立てる。その後、プロポーザル（業務を外部に委託する際に利用する発注方式）による委託業者の選定、実施方針、整備計画の策定などを経て、令和8年中旬ごろ発注したい。そして他の事業と調整しながら令和9年中には完成する計画でぜひ進めたい。

船便・航空便の長期欠航は 備蓄強化で

質問
① 今期は台風の影響が長期に及び町民生活が大きな影響を受けている。フェリー、航空便欠航の実態を伺う。
② 今後も巨大台風などが懸念され町民生活への影響が避けられない。認識と対応を伺う。

答弁 町長
① 大きな影響を受けたのは、商業施設は台風6号が7/30〜8/10の12日間、台風11号が8/31〜9/4の5日間の2度である。郵便物の2日以上遅れは5回である。双方とも町民の苦情はなかった。
② 台風情報の精度も上がり、スー

パーや個人での備蓄、鮮度管理も進んできている。県でも全体的な冷凍庫、冷蔵庫について調査を進めている。
食料自給率向上のためにも地産地消の取り組みは重要であると考え、関係機関と協力、連携を図り進めていく。

本町のマイナ保険証の 病院利用率は3.83%

質問
① 本町のマイナカードの対象者数、交付者数交付率。国と県の交付率。
② 未交付者枚数（申請者未引き取りで役場に滞留している枚数）。
③ マイナ保険証の利用件数、利用率。トラブルや町民の苦情はどうか。
④ マイナ保険証の利用率は4月6.8%、その後毎月低下し10月は4.49%と発表されている。
⑤ マイナ保険証に関する不安を払拭してから現行保険証廃止すべきと思うが、確認する。

答弁 町長
① マイナカードの交付状況は本年11/19現在、対象者数6,565名、交付者数が4,691名、交付率71.45%である。国の交付率は72.9%、県が82.44%。
② 未交付枚数は11/24現在、1カ月以上滞留しているのは42枚。
③ マイナ保険証の利用実態は9月から11月で病院が87名、診療所0名、歯科医院合計で多くて月に3、4件。マイナ保険証での受診率は3.

83%である。
町民の苦情は寄せられていない。システムトラブルは町診療所で発生しマイナ保険証が使えなかった。
④ 政府には国民の不安の払しょくや利用率等を勘案し、慎重な判断をお願いしたい。

野生シカ360頭捕獲見込み 根絶も近い

質問
① 今年度の月別捕獲数。
② 新たな施策である捕獲後の焼却処理、報償費の引き上げへの評価。
③ 今後に向けての根絶見込み。

答弁 町長
① 成獣、幼獣の捕獲は4月〜11月合計で245頭である。
② 野生シカ245頭の捕獲の内9割以上が焼却処分した。捕獲従事者の処理作業の軽減につながっている。報償費の引き上げも、燃料費の負担軽減、モチベーションの向上につながっている。
③ 今年度捕獲数が350頭を超える見込み。次回調査は、もう1年推移を見て正確な効果を調査したい。
カラスは今年度8か月の捕獲数が538羽、去年の捕獲数260羽を超えている。被害状況に地域差もあるため今後も対策を強化していく。



質問する
どき かずき
土岐 和貴 議員

未来を担う子供たちに「食育」の大切さを伝えたい

質問

① 経済の変化の中で人間の幸福と地域の発展の調和が今後の重要課題である。学校、家庭、地域の連携による食育とはどのような取り組みか。

② 地場産食材使用率を上げていくために検討していることは。

③ 喜界島産食材の活用で、年々実績も上がっていて前年度に比べ、2倍以上の食材を活用しているが、子供たちの意識は変わってきているのか。

④ 本町でも団体や農家が自然に優しい有機栽培などで食材や無添加の調味料などを作られている。オーガニック給食と地産地消の融合も食育に対して効果があるのではないか。

答弁 教育長

① 家庭教育学級で栄養教諭が保護者対象の講話を行っており、学校だけでなく食育に関する学習や講話の話題を提供し、家庭や地域との連携や啓発に取り組んでいる。

② 営農支援センター、農協選果場、野菜直売所との連携をはじめ、個人農家への個別の働きかけにより、使用率の向上に努めている。献立の工夫などによる新たな食材の開発も検討したいと考えている。

③ 食育、地産地消等に関する意識調査は実施していない。学習や体験活動、ジオパーク教育など、新たな取り組みにより、子供たちの意識や理解は全体として高まりつつある。

④ オーガニック製品の認証の難しさやコストの問題、適切な鮮度管理などの課題も考えられる。総合的に考慮すると、地産地消と融合した食育の推進、もしくはオーガニック給食については、現段階では現実的ではないと考えている。



地元で採れる新鮮野菜

生涯を通して学び活躍できる環境づくりは大切

質問

① スポーツ、文化の振興は豊かな人生を歩んでいく中で重要な取り組み

みである。公民館講座等について、若い世代の参加率を上げていくために行っていることは。

② 様々な世代が交流できる多様な講座を開設していくためには、新たな取り組みが必要ではないか。

答弁 教育長

① それぞれの価値観や生き方の多様化、ライフスタイルの変化、子育て、仕事などの影響で若い世代や現役世代の地域貢献活動や社会参画意識の変化も根幹にあるのではないかなと思われる。若者や現役世代の声をニーズなどを収集しながら、知恵を働かせていきたい。

② 様々な世代が交流できる機会を検討したいが、世代間のライフスタイルやニーズの違いから、公民館講座として実施するには現実的には難しいと考えている。

「肉用牛」国内で在庫が滞留し現在も取引価格が下落

質問

① 国内で肉用牛の需要低下を受けて政府は米国への輸出を強化した基準を超え、セーフガードを発動する事態に。本町でも飼料価格の高騰や子牛セリ価格の低迷で数年前に比べて経費が上がり、収入が大幅に減少している。そのため、臨時交付金を活用し経営安定や負担軽減につながるように早急に対応する述べた。しかし、一時的な対応では根本的な問題解決にはならないのではないか。

② 現在、日本での国内生産の割合は約35%、外国からの輸入は約65%。この現状を踏まえると、以前のようなセリ価格に戻るのには非常に厳しいと考えるが、地域ごとの実情が国の施策に反映されるように国、県に要望書等を提出し危機的状況を伝えていくことは必要ではないか。

答弁 町長・農業振興課長

① 12月補正予算では支援金の給付に加え、今後の計画的かつ長期的な視点で問題解決に取り組んでいく必要があると考え、これまでの行政主導の支援策だけではなく、畜産農家が主体となり、JAなど関係機関との連携を図りながら進めていくことが重要である。その取り組みに対して予算措置も行っている。市場性向上や自給飼料の増産など経費節減にも取り組み、社会情勢の変化にも対応できる持続可能な産業へつなげていきたいと考えている。

② 畜産支援策として、関係国会議員や各省庁に対し、関係課を通じて要望書を提出している。内容については、一つ目、子牛生産者臨時経営支援事業の奄美群島基準の制度新設。二つ目、畜産の輸出に関する購買者支援。三つ目、畜産の輸入に関する生産者支援の3点。今後奄美群島全体で畜産経営が取り組みやすい環境を推進していきたい。



質問する
のま ひろや
野間 弘也 議員

クリーンセンター運営民営化へ

質問 クリーンセンター運営については、令和6年度から民間委託を行うとしていますが、民間委託に至る経緯、目的について見解を伺う。

答弁 町民税務課長

下水道の整備に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法（合特法）に基づき、町民サービスの向上を図るため、民間の力をいただき喜界町クリーンセンターの維持管理や延命化はもちろん、効率的かつ適正な運転管理の実現を目指す。

質問 民間委託に向けての事業者への周知、公募方法、業者の選定に至るまでの経緯を伺う。

答弁 町民税務課長

合特法の趣旨から町内2業者に絞られ、7月4日に当該事業所に対し募集をした。7月4日に第1回喜界町クリーンセンター等運転管理業務委託審査

委員会を開催し、委員長等の選任、評価基準、審査方法、第2回審査委員会の開催日時を決定した。7月31日に2業者に対し、現場説明会を開催。8月4日までに質問の受付回答。8月10日までに申請書類等の提出。8月17日に第2回審査委員会を開催し、業務提案書等を評価審査し受託業者を決定した。

質問 民間委託に伴うクリーンセンター運営予算の動向について伺う。

答弁 町民税務課長

町が光熱水費の一部や比較的大きな保守点検に要する費用等を負担し、それ以外の人件費や各種保険料、シルバー人材センター委託料、委託業務従事者に支給する事務費、衣類費、安全具等の予算を受託業者への委託料としている。現在の会計年度任用職員の多くが受託業者の社員として働くことを希望しており、生活水準の維持という観点から人件費はそのまま確保する。また、廃棄物処理施設技術管理者等の有資格者の人件費や一般管理費等を考慮すれば、全体的な予算は増加する見込み。

質問

循環型社会形成の観点から、汚泥、剪定木、生ごみを活用した堆肥センター建設が検討されている。生ごみの分別、回収などについて検討をおこなっているのか見解を伺う。

答弁 町民税務課長

12月に開催するごみ処理対策検討委員会で分別、収集方法について話題とし次年度の新しい検討委員会で実際に決定していくこととしている。町からさまざまな方法などを提示し皆さんで考えていただくような体制を構築したいと考えている。

畜産農家支援
関係機関の役割

質問

子牛のセリ価格は低迷が続いており、直近の本町の平均セリ価格は35万円代となり、畜産農家の経営は大変厳しい状況となっている。長期化が懸念される先を見据えた支援が必要と考える見解を伺う。

答弁 農業振興課長

町独自の価格高騰の支援策として、令和2年度から2度にわたり、母牛1頭当たり1万円の支援金の支給や家畜共済の掛金の全額支援を行ってきた。今回も給付金の支給に加え、長期的な支援に立った対策を予算計上した。子牛の品質向上を重点課題に位置づけ、大島地区肉用牛振興大会での高い評価を受けた技術力の普及促進を図り、市場価格の安定化を目指すため優良子牛の育成マニュアルの作成や育成期に必要な飼料の現物支援を軸に対策を講じていく。

取組については、畜産農家の方々をはじめ、JA県経済連など関係機関と協議し、方向性を定めた。今後も引き続き対話を継続し商品性

の向上をはじめ、自給飼料の増産など長期かつ計画的な取組を推進していきたい。

月	価格
1月	544,801円
3月	493,104円
5月	491,835円
7月	475,968円
9月	433,899円
11月	351,190円

年	価格
R元年	662,752円
R2年	637,056円
R3年	681,679円
R4年	548,398円
R5年	465,132円

読者の声

喜界島で思うこと

西目集落 80代

にしゆきお
西征男

私は喜界島で生まれても、育っていません。

台湾で生まれて、終戦後、2才で鹿児島へ引き揚げて来て、祖父・祖母は喜界島へ帰り、私の父母は、仕事を探して大阪へ行き、喜界島出身の方の紹介で、会社と住む場所（二十軒長屋）を得ました。

私は大阪育ちです。結婚をして父母が亡くなり、家族で毎夏休みに十日間程度喜界島へかえりました。その時に大変お世話になったのが、私が親しみを込めて言う「西目の3婆」三人のお婆さんです。

3婆は、私たちが喜界島へ帰る時は3日前から家を明け、掃除をして待っています。当日は昼食を作って待っています。至れり尽くせりです。島に帰ることを、3婆に安心させるために、家をリフォームすることに。その5年後に69才で喜界島へ帰ってきました。

私が喜界島で気になっていることは、夏休み等で夕方6時頃にかかる役場からの放送です。男の人の声で（この男の人を悪く言うつもりは全くありません）「小中学生の皆さん！6時になりました。遊びを止めて、お家に帰りましょう！」

あの放送は絶対に女の人がやるべきです。私たちは全て女の人のお腹から生まれます。お母さんです。子どもの頃はお母さんが全てです。あの新聞・テレビを騒がしているガーシー君（元参議員議員）でさえ言っています。「お母さん（おかん）だけには迷惑かけたくない」、放送時にかかる曲の歌詞にも出てきます。♪十五でねえやは嫁に行き〜このねえやお母さんのイメージです。ですから、子どもに呼びかける放送は全て女の人が良いと思います。

次に私が興味を持ったのは、堆肥を町役場で作る構想（堆肥センター）です。議員さんがどこかへ視察の記事を読んで知りました。

これは良い考えとおもいました。島の人は花が好きです。花を作ったりする時に、必ず必要になるのが、堆肥です。堆肥が安く手に入ると助かりますね。

私も大朝戸・西目で「町長と語る会」が行われた時に、質問しました。その時の町の答えは「令和6年度に実施の予定」でした。

今年の七月号の議会だよりを読みました。問題は採算がとれるかどうかにかかっているですね。

議会のうごき（1月～3月）

- 1月24日(水) … 議員研修会（鹿児島市）全議員
- 2月20日(火) … 定期総会（鹿児島市）議長・事務局長
- 2月26日(月) … 奄美大島地区介護保険一部事務組合議会定例会（奄美市）産業福祉常任委員長
- 2月27日(火) … 各種会議（奄美市）議長
- 2月28日(水) … 大島地区消防組合議員定例会（奄美市）総務文教常任委員長

お知らせ

第2回議会報告会を4月以降、開催します。日時、場所については追ってお知らせします。

ご案内

次の議会は、3月上旬を予定しています。

午前9時30分 開会 皆様の傍聴をお待ちしています。

また、喜界町ホームページでは、議会開会中の模様をインターネット中継でご覧いただけます。

（動画配信サイトで「喜界町議会定例会」を検索していただき、録画もご覧いただくことができます。）

お問合せ 喜界町議会事務局 電話 0997-65-1115

議会だよりアンケート

皆様のご意見をお聞かせください!



▼ アンケートのやり方

1



「QRコード」を
読み取る

2



アンケートに回答

3



任意項目を入力

4

送信

送信ボタンを
クリック

ご質問等は「喜界町議会広報委員会」まで

✉ kikai.gikai.kouhou@gmail.com

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

編集後記

明けましておめでとございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症も幾分落ち着き、昨秋以降は多くの日常の暮らしを取り戻したところです。一方でロシアのウクライナ侵略や円安により物価高騰を招き、市民の生活も厳しくなっています。イスラエル、パレスチナ紛争も世界平和の先行きを不安にさせています。

また、肥料や飼料価格の高止まり、子牛セリ価格の低下により、畜産農家の経営も厳しくなっています。議会では農家の皆さんの声を受け、支援を求めているところです。

町政の課題は、町内の人口減少、堆肥センター、共同納骨堂、公共交通機関の在り方など山積んでいます。

町議会も行政と車の両輪のごとく町民の健康と命、暮らしと営業を守るため奮闘しつつ、分かりやすい広報活動のために尽力いたします。

この間、ハガキアンケートを中心に多くのご提案・意見をいただきました。今後は、2回目の議会報告会、読者の皆さんに気軽にQRコードによるアンケートもお願いして、議会だよりの内容向上にも努めてまいります。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

文責 良岡 理一郎

喜界町議会広報委員会

委員長 良岡 理一郎

副委員長 生島 常範

委員 野間 弘也

倉橋 博都

米田 信也

土岐 和貴